

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3264

セッション記述プロトコル(SDP)を使っ
たオファー/アンサーモデル

An Offer/Answer Model with the
Session Description Protocol (SDP)

第 1 版

2005 年 6 月 2 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC 3264に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし

2.2 ナショナルマター項目

特になし

2.3 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2005年6月2日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 2327, RFC 2119, RFC 3108, RFC 1889, RFC 1890, RFC 2974, RFC 3261, RFC 2326,
RFC 2833, RFC 2543

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、2つのエンティティの間のマルチメディアセッションについて共通の認識に至るために SDP (セッション記述プロトコル I)を利用することができるような機構を定義する。このモデルでは、一方の参加者が他方に対して自分の側から見て希望するセッションの記述を提示(オファー)し、他方の参加者が自分の側から見て希望するセッションの記述で応答(アンサー)する。このオファー/アンサーモデルは両方の参加者からの情報が完全なセッションに関する認識を得るために必要となるユニキャストセッションで最も有用である。オファー/アンサーモデルは SIP (セッション開始プロトコル)のようなプロトコルで利用される。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC 3264 : 「An Offer/Answer Model with the Session Description Protocol (SDP)」